

祝 辞

皆さん ご卒業おめでとう心からお祝い申し上げます。

高校生活も今日が最後の日となりましたこの日を迎えられましたご両親ご家族のお慶びもひとしおのこととご拝察し、重ねてお祝い申し上げます。

卒業される皆さんの胸中に去来するものは、楽しかった学園生活、共に育んできた同級生との友情であろうと思います。 今日までの真摯な努力と精進に対し心から敬意を表したいと思います。

いよいよ明日からは学園生活に別れを告げ、それぞれ選択した道に進まれるわけですが、就職される人、また勉学の道へ進まれる人にとっても、自分の生き方に責任を持たなければならない新たな出発のときとなります。

これからが人生の本舞台です、皆さんは、未知の世界へ一歩踏み出す不安と同時に大きな夢に向かって希望に胸を膨らませ複雑な気持ちでおられることと思います。

しかしながら、現実社会では大変厳しいものがあります、人の心も社会の流れも日々変化していく中で、忘れてならないことは、心技体を中心とした白樺学園の校風と、伝統に裏打ちされた力を思い切り発揮し、努力を積み重ねることです。

この校風と伝統は、皆さんの諸先輩の方々が作り上げたものではありますが、更に皆さんが、より一層の輝きを加えることによって、確実に後輩に受け継がれていくものと思います。

これから、数多くの人との出会いがあり いろいろなことを経験されると思いますが、どうかこうした出会いや経験を大切に、更なる人格の形成を目指していただきたいと願っております。

2024年の新一万円の肖像となる、渋沢栄一は、「道德経済合一」理論のもと経済人として、500社近い会社の設立に関与しましたが、経済人としての活動のほか、社会福祉事業に生涯をかけて情熱を注がれました、その心に流れていたのは、母から育まれた「まごころ・思いやり」を意味する「忠恕の心」であり、この言葉を生涯貫いたと言われていきます。

結びになりますが、皆さんもこの「忠恕の心」を持ち、これまでお世話になった諸先生はじめ、学園関係者への感謝の気持ちを忘れずに、ご両親、ご家族そして友人を大切に、人生の成功者となり益々ご活躍されますことを心から祈念致しまして お祝いの言葉と致します

令和2年3月1日

白樺学園高等学校同窓会 会長 鈴木 正 孝